

平成18年5月19日公表

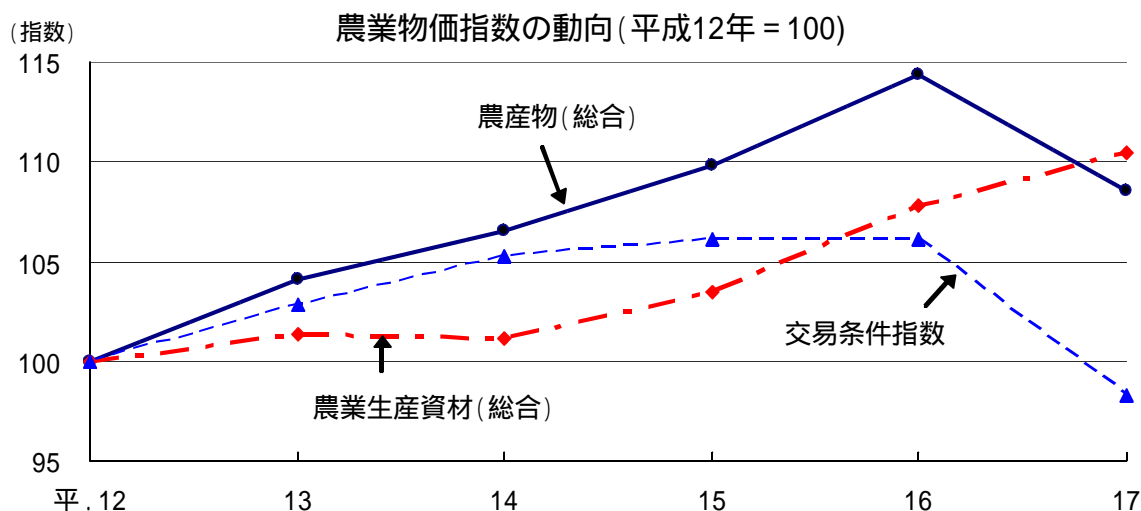
平成17年農業物価指数（大分県） （平成12年基準）

- 米、野菜等の価格が低下し、農産物価格指数は前年に比べ5.2%低下 -

【調査結果の概要】

平成17年の農業物価指数（平成12年を100とする。以下同じ。）は、農産物価格指数（総合）が108.5で、前年に比べ5.2%低下しました。また、農業生産資材価格指数（総合）は110.4で、前年に比べ2.4%上昇しました。

この結果、農業の交易条件指数〔農産物価格指数（総合）/農業生産資材価格指数（総合）×100〕は98.3となり、前年を7.8ポイント下回りました。



農 業 物 価 指 数 の 推 移

平成12年 = 100

区 分	指 数						対前年騰落率(%)				
	平.12	13	14	15	16	17	平.13	14	15	16	17
農 産 物 (総 合) A	100.0	104.1	106.5	109.8	114.4	108.5	4.1	2.3	3.1	4.2	5.2
農 業 生 産 資 材 (総 合) B	100.0	101.3	101.1	103.5	107.8	110.4	1.3	0.2	2.4	4.2	2.4
(参考)交易条件指数 (A / B × 100)	100.0	102.8	105.3	106.1	106.1	98.3	2.8	2.5	0.8	0.0	7.8

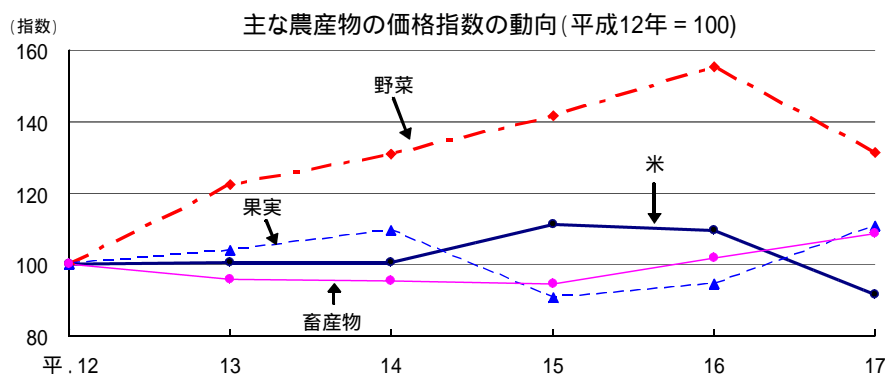
注：交易条件指数の対前年騰落率欄は、対前年差（ポイント）です。

【解説】

1 農産物価格指数（総合）

平成17年の農産物価格指数の総合は108.5となり、前年に比べ5.2%低下しました。これは、果実、畜産物等で上昇したものの、米、野菜等で低下したためです。主な類別の動向をみると、次のとおりです。

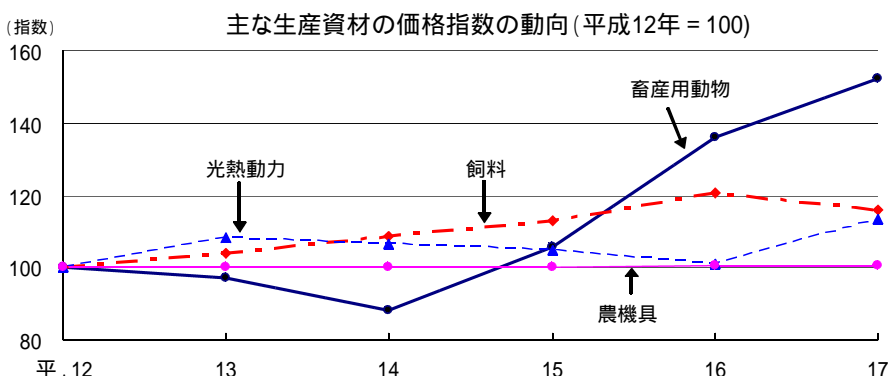
- (1) 米は前年に比べ16.4%低下しました。
これは、収穫量の増加と需要の減少等により価格が低下したためです。
- (2) 野菜は前年に比べ15.5%低下しました。
これは、前年が台風の被害により出荷量が減少し、価格が上昇したことの反動により低下したためです。
- (3) 果実は前年に比べ16.8%上昇しました。
これは、年をまたいで出荷された前年産みかんの価格やなつみかん等の価格が、出荷量の減少により上昇したためです。
- (4) 畜産物は前年に比べ6.4%上昇しました。
これは、出荷量の減少により鶏卵価格が上昇したことと、米国産牛肉の輸入停止により肉用牛等の価格が上昇したためです。



2 農業生産資材価格指数（総合）

平成17年の農業生産資材価格指数の総合は110.4となり、前年に比べ2.4%上昇しました。これは、飼料の価格は低下したものの、畜産用動物、光熱動力等が上昇したためです。主な類別の動向をみると、次のとおりです。

- (1) 畜産用動物は前年に比べ12.1%上昇しました。
これは、肉用子牛等の価格が上昇したためです。
- (2) 飼料は前年に比べ4.0%低下しました。
これは、配合飼料の輸入原料価格等が低下したためです。
- (3) 光熱動力は前年に比べ12.3%上昇しました。
これは、原油価格が上昇したためです。



【統計表】

農 業 物 価 指 数

平成12年 = 100

区 分	ウェイト	平.12	13	14	15	16	17	対前年騰落率 %
農 産 物 (総 合)	10 000	100.0	104.1	106.5	109.8	114.4	108.5	5.2
米	2 571	100.0	100.7	100.4	111.3	109.4	91.5	16.4
麦	163	100.0	99.4	96.2	94.6	91.8	87.7	4.5
豆	25	100.0	77.6	74.8	80.8	126.1	149.9	18.9
い も	25	100.0	81.8	70.8	112.6	142.9	107.6	24.7
野 菜	2 190	100.0	122.2	130.9	141.8	155.2	131.2	15.5
果 実	1 029	100.0	103.8	109.6	90.7	94.7	110.6	16.8
工 芸 農 作 物	609	100.0	100.0	99.9	96.8	96.7	103.6	7.1
花 き	766	100.0	98.5	100.9	105.7	100.5	105.1	4.6
畜 産 物	2 620	100.0	95.7	95.3	94.4	102.0	108.5	6.4
鶏 卵	380	100.0	88.1	91.0	76.5	89.3	111.6	25.0
生 乳	692	100.0	97.3	96.3	95.8	98.1	97.7	0.4
肉 畜	807	100.0	100.7	102.8	96.3	102.0	107.3	5.2
子 畜	740	100.0	92.9	88.3	100.3	112.0	118.4	5.7
稲わら及びわら加工品	2	100.0	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	0.0
農業生産資材 (総 合)	10 000	100.0	101.3	101.1	103.5	107.8	110.4	2.4
種 苗 及 び 苗 木	414	100.0	100.4	100.2	101.1	101.1	100.7	0.4
畜 産 用 動 物	1 025	100.0	97.0	88.1	105.6	135.9	152.3	12.1
肥 料	701	100.0	99.5	100.5	101.3	101.9	102.0	0.1
飼 料	1 867	100.0	104.0	108.6	112.8	120.8	116.0	4.0
農 業 薬 剤	840	100.0	100.2	100.6	100.1	99.2	98.4	0.8
諸 材 料	883	100.0	99.9	99.6	99.6	100.9	106.0	5.1
光 熱 動 力	1 089	100.0	108.3	106.6	104.7	100.9	113.3	12.3
農 機 具	1 626	100.0	100.0	100.1	100.3	100.7	100.7	0.0
自動車・同関係料金	607	100.0	100.0	100.0	100.3	100.3	100.3	0.0
建 築 資 材	221	100.0	99.1	97.8	97.6	97.2	101.1	4.0
農 用 被 服	53	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
賃 借 料 及 び 料 金	674	100.0	99.6	99.0	98.0	98.2	98.6	0.4

【調査の仕様】

1 調査の目的

農業物価統計調査は、農業における投入・産出の物価変動を測定するため、農業経営に直接関係のある農産物、農業生産資材の価格を把握し、その結果を総合して全国的及び地域的な農業物価指数等を作成することを目的としています。

2 調査の対象

(1) 農産物生産者価格調査

農産物出荷団体等（農業協同組合、出荷組合、集出荷業者又はその団体、青果物・食肉卸売市場等）

(2) 農業生産資材価格調査

農業生産資材を販売する小売店等

3 調査客体数

(1) 農産物生産者価格調査 …… 52指定先

(2) 農業生産資材価格調査 …… 30指定先

4 調査方法

調査指定先に対して面接又は電話による聞き取り方法により行っています。

5 集計方法

ア 基準時

基準時は、平成12年（暦年）1か年です。

イ 指数採用品目

指数に採用した品目は、農産物67品目、農業生産資材121品目です。

ウ ウェイト

平成12年基準の農業物価指数作成のためのウェイトは、平成12年農業経営統計調査「農業経営動向統計」結果の大分県内販売農家1戸当たりの農産物品目別販売金額及び生産資材品目別支出金額から作成しました。

農産物の総合及び類別の価格指数の算出に当たっては、品目別の月別価格変動を類別指数に的確に反映させるため、類のウェイトを固定し、類内の品目ごとの月別ウェイト（県内の月別出荷量ウェイト）を出回り量によって変動させる「品目別月別ウェイト変動方式」により行いました。

エ 基準時価格

基準時価格は、農業物価統計調査による平成12年の平均価格です。

なお、年平均価格は次の方法で算出しています。

(ア) 農産物価格

農産物価格は、品目別の月平均価格に平成11・12年の該当月の月別出荷量によるウェイトを乗じて年平均価格を求めました。

(イ) 農業生産資材価格

農業生産資材価格は、平成12年の農業生産資材価格調査の月平均価格の単純平均により年平均価格を求めました。

オ 価格資料

農産物価格のうち野菜については毎月5日、15日現在、野菜以外の農産物については毎月15日現在の農家受取価格を調査しています。

生産資材は毎月15日現在の小売価格を調査しています。

なお、年平均価格については、基準時価格と同様の方法で算出しています。

6 計算式

ラスパイレズ式（基準時加重相対法算式）です。

7 目標（実績）精度

本調査においては、目標精度は設定していません。

8 用語の解説

(1) 農産物価格指数

農家が販売する個々の農産物の価格を指数化したものであり、類似した商品群ごとに10の類別にまとめて作成しています。

(2) 農業生産資材価格指数

農家が購入する農業生産に必要な資材の小売価格を指数化したものであり、類似の商品群ごとに12の類別にまとめて作成しています。

(3) 農業交易条件指数

農産物と農業生産資材の相対価格関係の変化を示すものとして使用されており、農業生産資材価格指数（総合）に対する農産物価格指数（総合）の比率として算定しています。一般に指数が上昇すれば、農家の経営状況は上向くこととなります。

9 表中の「 」は、マイナスを示します。

この資料は、九州農政局大分農政事務所ホームページでご覧になれます。

[【http://www.oita.info.maff.go.jp/】](http://www.oita.info.maff.go.jp/)

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局大分農政事務所統計部
経営・構造統計課 経営統計第3係
TEL097-532-6159 FAX097-538-1820

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局大分農政事務所統計部
統計企画課 企画係
TEL097-532-6177 FAX097-538-1820